

V. 肺高血圧症のトピックス

1. Upfront combination therapy —肺高血圧症の最新治療



国立循環器病研究センター心臓血管内科部門肺循環科医長 大郷 剛 (Ogo, Takeshi)

THROMBOSIS and Circulation

§ 論文のポイント

- [1] 肺動脈性肺高血圧症 (PAH) は肺血管抵抗上昇により右心不全、死亡を来す予後不良の疾患である。
- [2] PAH 治療薬にはプロスタサイクリン、nitric oxide、エンドセリンの3系統の治療薬がある。
- [3] PAH の治療として、臨床的な効果の目標を定めて投薬を併用していく逐次併用療法 (Goal-oriented sequential combination therapy) が行われてきたが特に重症例には効果が不十分である。
- [4] 近年治療最初から併用療法を行う初期併用療法 (Upfront combination therapy) の血行動態、予後への著明な効果が報告され注目を集めている。
- [5] Upfront 療法は、エビデンスがまだ少なく、安全性や医療経済への影響を含めてさらなる検討が必要である。
- [6] Upfront 療法は、重症例を含めた一定の患者群において標準的治療となる可能性を秘めた治療法と考えられる。

§ キーワード

肺動脈性肺高血圧症 / Upfront combination therapy / PAH 治療薬 / 併用療法